

ご自由にご覧ください

みちの井戸端会議



「調布市道路網計画」で計画検討路線として位置付けている「調布3・4・9号線」「調布3・4・14号線」「調布3・4・15号線」及び神代植物公園通りの見直し方針（案）について、ご意見をお聴かせください。

みちの井戸端会議とは

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今回のみちの井戸端会議は、「調布市道路網計画」で計画検討路線として位置付けている「調布3・4・9号線」「調布3・4・14号線」「調布3・4・15号線」及び神代植物公園通りの見直し方針(案)について、みなさまからご意見を伺うものです。

是非みなさまのお考えをお聴かせください。



調布市道路網計画とは

調布市は、広域的な移動を支える「都市計画道路」と地区内の移動を支える「生活道路」を体系的、機能的に連携した道路網として、バランスよく整備していくことが重要であると考え、「調布市道路網計画（以下「道路網計画」という。）」を策定（平成28年3月）しました。

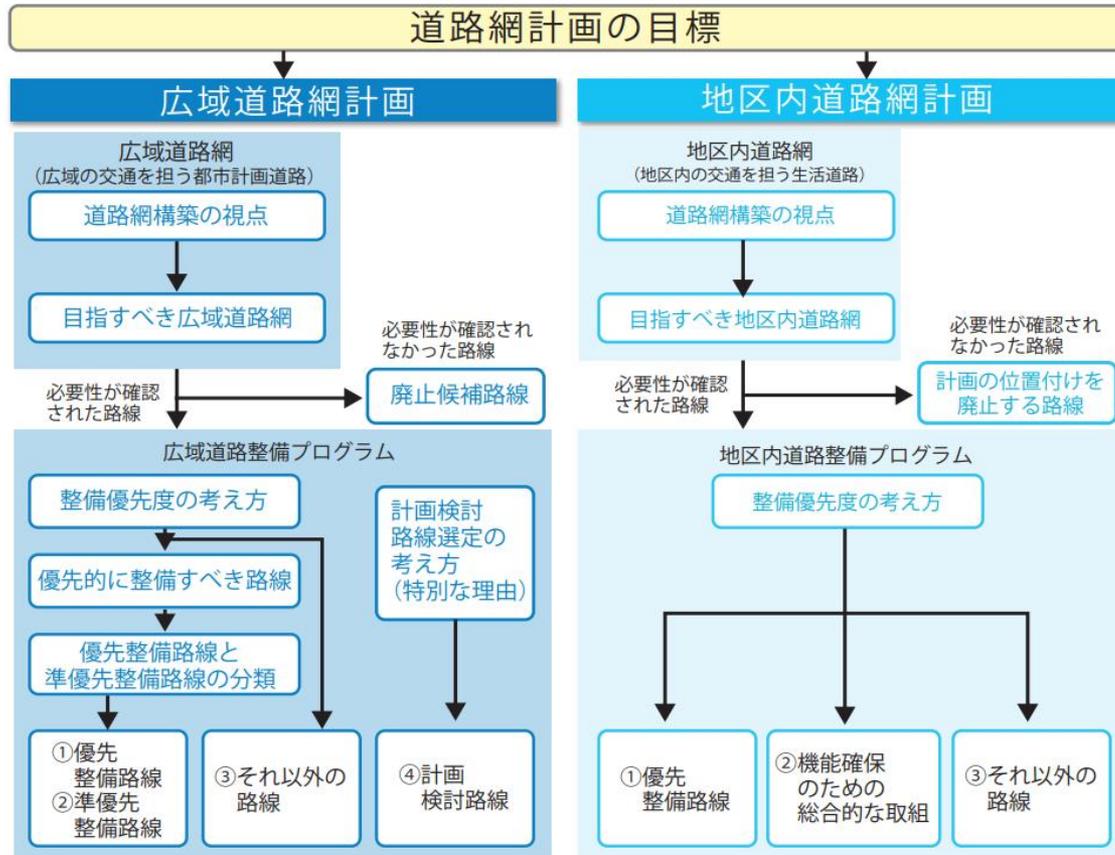
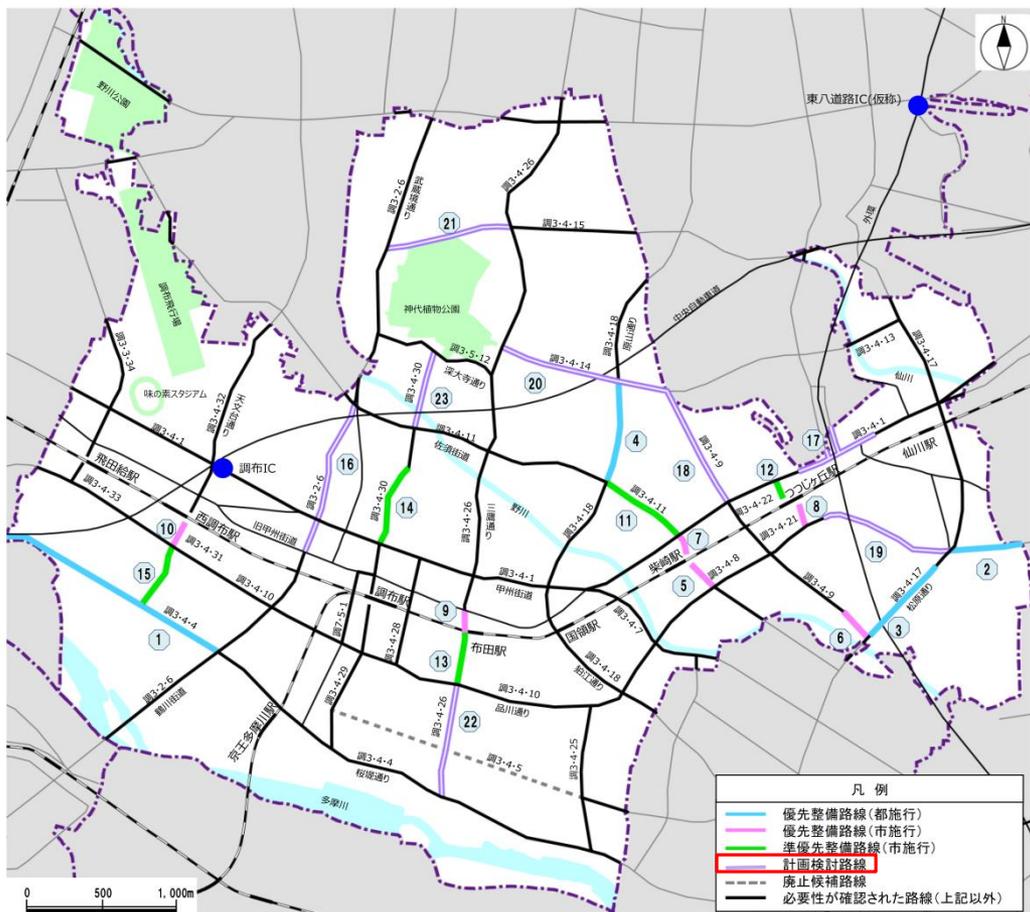


図 道路網計画の構成

計画検討路線とは

計画検討路線とは、道路網構築の視点により道路網の必要性が確認された路線のうち、特別な事由により、道路の線形、幅員、位置、構造の変更など都市計画の内容について検討する必要がある路線です。



計画検討路線（検討主体：都）（2路線）

No	路線	区間	延長(m)
16	調布3・2・6号線	都道119～中央自動車道	980
17	三鷹3・4・13号線支線1、支線2 調布3・4・1号線	調布3・4・1～三鷹市境	870
	合計		1,850

計画検討路線（検討主体：市）（6路線）

No	路線	区間	延長(m)
18	調布3・4・9号線	調布3・4・1～調布3・4・14	830
19	調布3・4・10号線	調布3・4・17～東つつじヶ丘2丁目	920
20	調布3・4・14号線	調布3・4・9～調布3・4・26	1,150
21	調布3・4・15号線	調布3・4・26～調布3・2・6	840
22	調布3・4・26号線	調布3・4・4～調布3・4・10	770
23	調布3・4・30号線	調布3・4・11～調布3・5・12	420
	合計		4,930

計画検討 3 路線とは

神代植物公園通りと並行する都市計画道路である 3 路線（調布 3・4・9 号線，調布 3・4・14 号線，調布 3・4・15 号線（以下「計画検討 3 路線」という。））を道路網計画において，計画検討路線として位置付けました。



- 神代植物公園通りと並行する計画検討 3 路線は，道路網計画において既存道路を活用し，都市計画道路の機能代替の可能性のある路線として，計画検討路線に位置付けました。
- 神代植物公園通りは，市の東部地域と北部地域を結ぶ主要な生活道路で，つつじヶ丘駅から深大寺方面へのバス路線となっていますが，ほとんどの区間で歩道がなく歩行者の安全性が確保されていない状況です。
- このため，神代植物公園通りの安全性などを向上させることで，都市計画道路の持つ機能を代替できる可能性について検討します。

道路網計画における計画検討 3 路線の必要性の検証(広域道路網計画)

<必要性の検証>

道路網計画の目標を踏まえ、道路網構築の視点として7つの検証項目を設定し、必要性の検証を行いました。

道路網構築の視点		広域道路網	地区内道路網	目標
①	鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築	●	●	快速 便利 安全
②	救急搬送を支える道路網の構築	●		快速 便利 安全
③	地域の拠点や主要施設への安全で快適な移動を支える道路網の構築		●	快速 便利 安全
④	道路混雑の解消に資する道路網の構築 ※	●		快速 便利 安全
⑤	緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築	●	●	防災 減災
⑥	緊急時の避難を支える道路網の構築		●	防災 減災
⑦	火災時の延焼を防ぐ道路網の構築	●		防災 減災
⑧	中心市街地のにぎわいの創出に寄与する道路網の構築		●	活性化
⑨	観光振興に寄与する道路網の構築	●		活性化
⑩	都市の低炭素化を促進する道路網の構築 ※	●		環境・ 住環境
⑪	住みやすいまちを形成する道路網の構築		●	環境・ 住環境

図 道路網構築の視点

※道路網構築の視点のうち、「道路混雑の解消に資する道路網の構築」、「都市の低炭素化を促進する道路網の構築」は、道路整備による効果を確認する視点として設定

<道路網計画における各路線の評価項目>

路線名	区間	①	②	④	⑤	⑦	⑨	⑩
調布3・4・9号線	調布3・4・1 ～ 調布3・4・14	○			○	○	○	
調布3・4・14号線	調布3・4・9 ～ 調布3・4・18					○	○	
調布3・4・14号線	調布3・4・18 ～ 調布3・4・26						○	
調布3・4・15号線	調布3・4・26 ～ 調布3・2・6					○		

「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」における 計画検討 3 路線の必要性の検証

＜将来都市計画道路ネットワークの検証の考え方＞

都市計画道路の整備に関して設定した四つの基本目標を掲げ、都市計画道路の果たす様々な役割や機能を考慮し、目標実現に向けて今後も必要な都市計画道路とはどのようなものか検討し、15 の検証項目を設け、検証を実施しました。

基本目標

検証項目

活
力

防
災

暮
ら
し

環
境

1	骨格幹線道路網の形成	活	防	暮	環
2	都県間ネットワークの形成	活	防		環
3	円滑な物流の確保	活			環
4	交通結節点へのアクセス向上	活		暮	
5	交通処理機能の確保	活		暮	
6	緊急輸送道路の拡充		防		
7	避難場所へのアクセス向上		防		
8	延焼遮断帯の形成		防		
9	災害時の代替機能		防		
10	都市環境の保全				環
11	良好な都市空間の創出				環
12	公共交通の導入空間	活		暮	
13	都市の多彩な魅力の演出・発信	活			
14	救急医療施設へのアクセス向上			暮	
15	地域のまちづくりとの協働	活	防	暮	環

「検証項目」に示した番号は、検証の順位を示すものではありません。

＜第四次事業化計画における各路線の評価項目＞

路線名	区間	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
調布3・4・9号線	調布3・4・1 ～ 調布3・4・14					○			○							○
調布3・4・14号線	調布3・4・9 ～ 調布3・4・18					○			○	※						○
調布3・4・14号線	調布3・4・18 ～ 調布3・4・26					○										○
調布3・4・15号線	調布3・4・26 ～ 調布3・2・6							○	○					○	○	○

※ 調布3・4・14（調布3・4・9～調布3・4・18区間）の延焼遮断帯の形成について、第四次事業化計画策定時には評価されていませんでしたが、個別検討した結果、必要性が確認されました。

各計画における評価項目の再確認

市において、計画検討3路線の見直しの検討を進めるに当たり、道路網計画及び第四次事業化計画における評価項目について再度確認を行いました。その結果、計画検討3路線については、改めて必要性を確認しました。

第四次事業化計画 (平成28年3月 東京都・特別区・26市2町)



道路整備の四つの
「基本目標」



調布市道路網計画 (平成28年3月 調布市)



道路網計画の目標



必要性の検証

必要性は確認された路線で、
「特別の事由」により検討を
必要とする路線

「計画内容再検討路線」

「計画検討路線」



評価項目の再確認

市民参加の実施概要

これまでに地元の地区協議会等からのご意見や沿線住民及び地権者に対するアンケート調査、沿線地域を対象としたみちの井戸端会議を実施し、地域の交通課題等に関するご意見を収集しました。

<計画検討（調布市）>

平成28年3月

調布市道路網計画 策定

令和元年9月

<ステップ1>

地域の交通課題

・
将来計画の考え方

<市民参加（市民）>

➤ 沿線地域の交通課題

[地元の各協議会]

➤ 沿線地域の交通課題の再確認

➤ 将来計画の考え方に関するご意見

[地元協議会][沿線住民アンケート]

[みちの井戸端会議]

昨年度実施した市民参加における沿線住民等からのご意見回答数

市民参加方法	実施場所・実施日（令和元年）	回答人数	配布数	回答率
沿線住民アンケート	（配布日：9/2～9/5）	165	約2,200	約7%
みちの井戸端会議	上ノ原（平日9/19）	9	—	—
	上ノ原（休日9/23）	9	—	—
	深大寺（平日9/27）	3	—	—
	深大寺（休日9/22）	9	—	—
	つつじヶ丘（平日9/26）	17	—	—
	つつじヶ丘（休日9/28）	31	—	—
合計		243	—	—

市民参加実施時にお示しした将来計画イメージ

将来の道路計画として2つの案(ルート変更案, 現都市計画案)を設定し, ご意見をいただきました。

【ルート変更案】

- 神代植物公園通り沿線
- ・ 歩道がない区間もあり安全性に問題
 - ・ バスを待つ場所もスペースがなく危険

【現都市計画案】

- 都市計画道路沿線
- ・ 昭和37年から都市計画が存在
 - ・ 計画線内には住宅や森林が多く存在

現
状



将
来



- ・ 歩道が広く歩きやすい道路
- ・ 自転車が走りやすい道路
- ・ 植栽等が配置されて, 景観に配慮した道路
- ・ 無電柱化された災害に強い道路
- ・ 周辺道路の混雑が緩和される道路

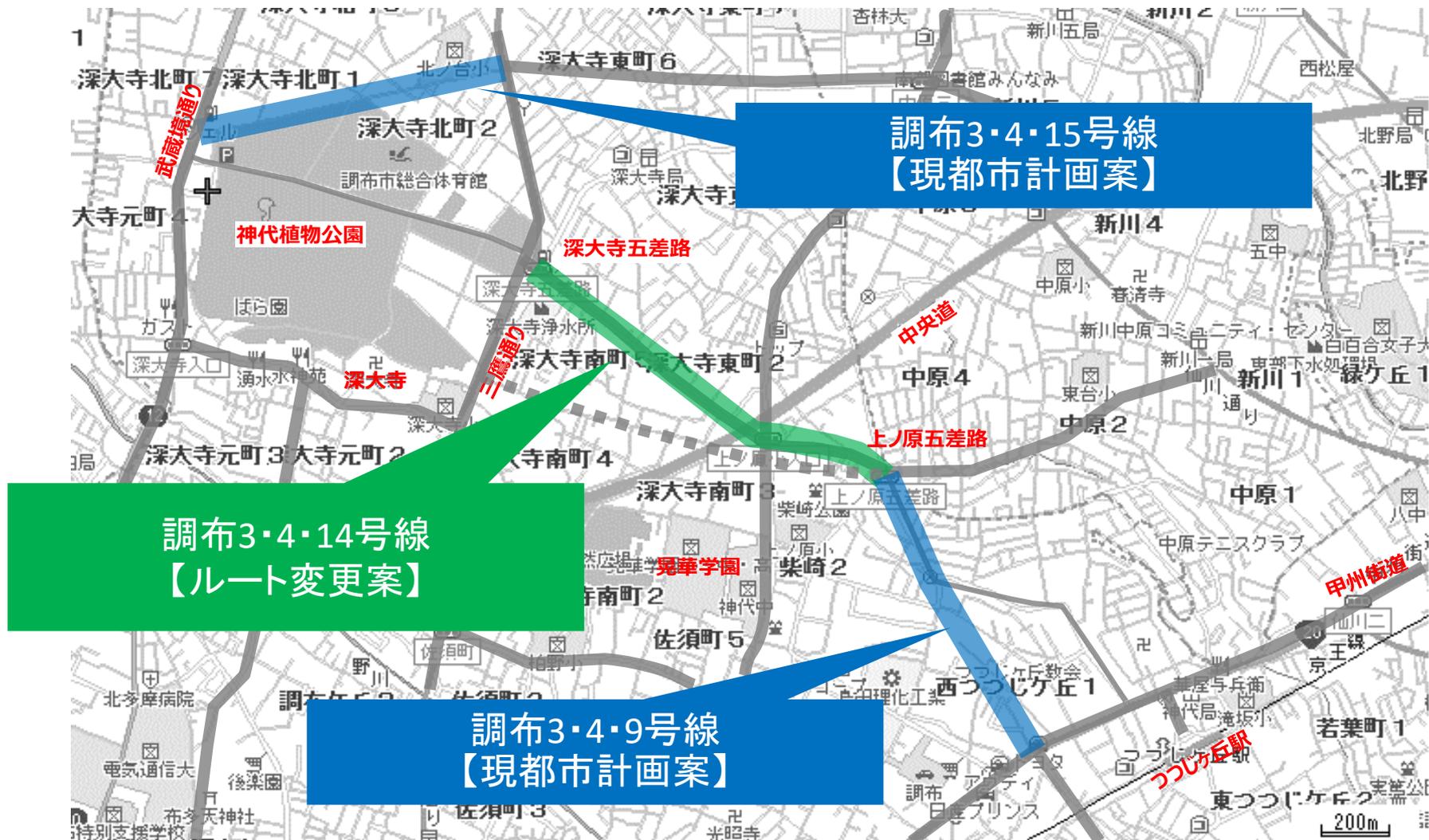
皆様からいただいたご意見（概要）

皆様から様々なご意見をいただきました。なかでも**安全性**、**快適性**、**利便性**、**住環境**、**防災性**、**効率性**に関するご意見が多く寄せられています。

	皆様からいただいたご意見（概要）
安全性	<ul style="list-style-type: none">➤ 誰もが安全に移動できる環境を整備してほしい➤ 神代植物公園通りは、バスを待つ環境を改善してほしい
快適性	<ul style="list-style-type: none">➤ 連続して歩ける空間を整備してほしい➤ 自動車で渋滞に巻き込まれず移動できるようにしてほしい➤ 五差路など変則交差点が多いため、改善してほしい
利便性	<ul style="list-style-type: none">➤ 鉄道駅や深大寺、救急病院まで、アクセスしやすくしてほしい
住環境	<ul style="list-style-type: none">➤ 緑が多い地域なので、森林や住環境などを保全してほしい
防災性	<ul style="list-style-type: none">➤ 防災拠点である神代植物公園まで、緊急時にも移動できるようにしてほしい
効率性	<ul style="list-style-type: none">➤ 少子高齢化による民生費増加も考慮して、効率的に道路整備をしてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none">➤ 自転車利用者のマナー啓発をしてほしい➤ 意見聴取の方法は簡単なものにしてほしい➤ スケジュールを示してほしい

見直し方針（案）

【安全性】【快適性】【利便性】【住環境】【防災性】【効率性】の6つの視点から比較し、以下のとおり、計画検討3路線の見直し方針（案）を作成しました。

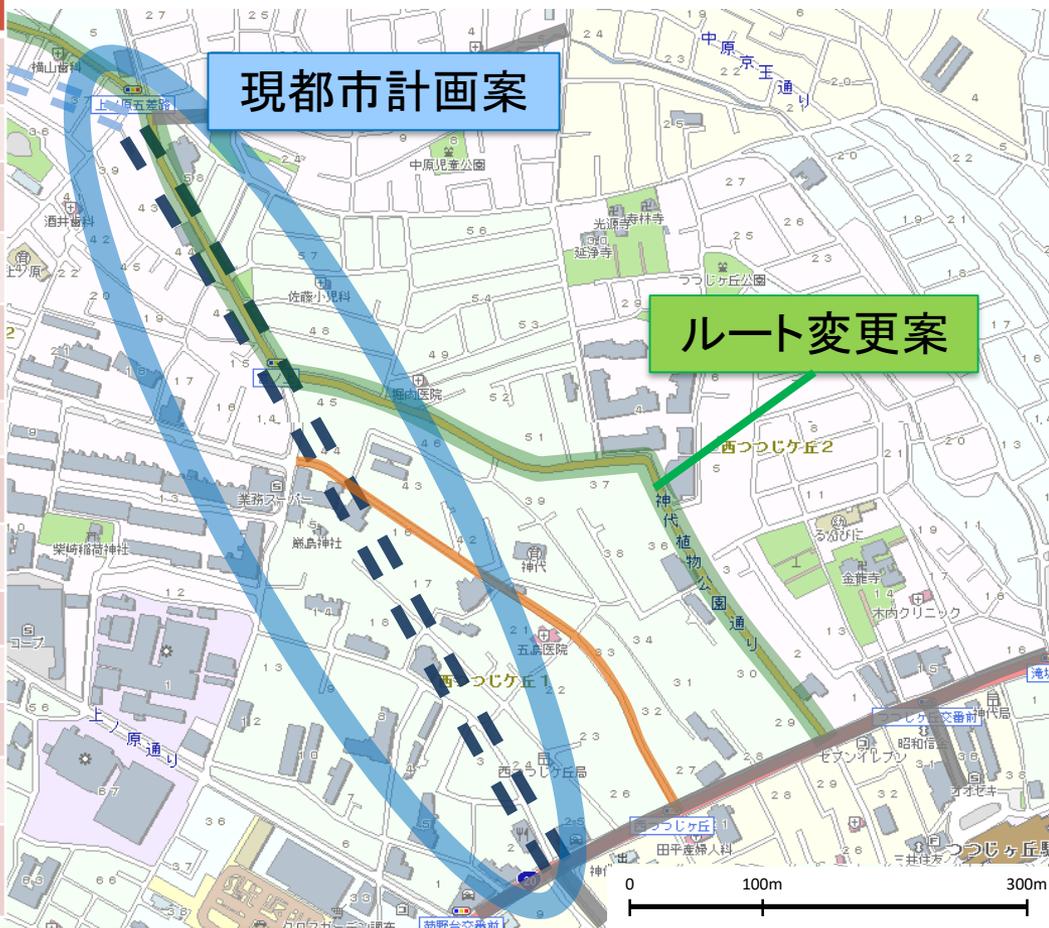


調布3・4・9号線の見直し方針（案）

【現都市計画案】とする

- 松原通りから品川通り，甲州街道へ接続する広域道路ネットワークを形成します。
- 生活道路への通過交通の流入抑制及び神代植物公園通りの交通経路の分散化が期待できます。

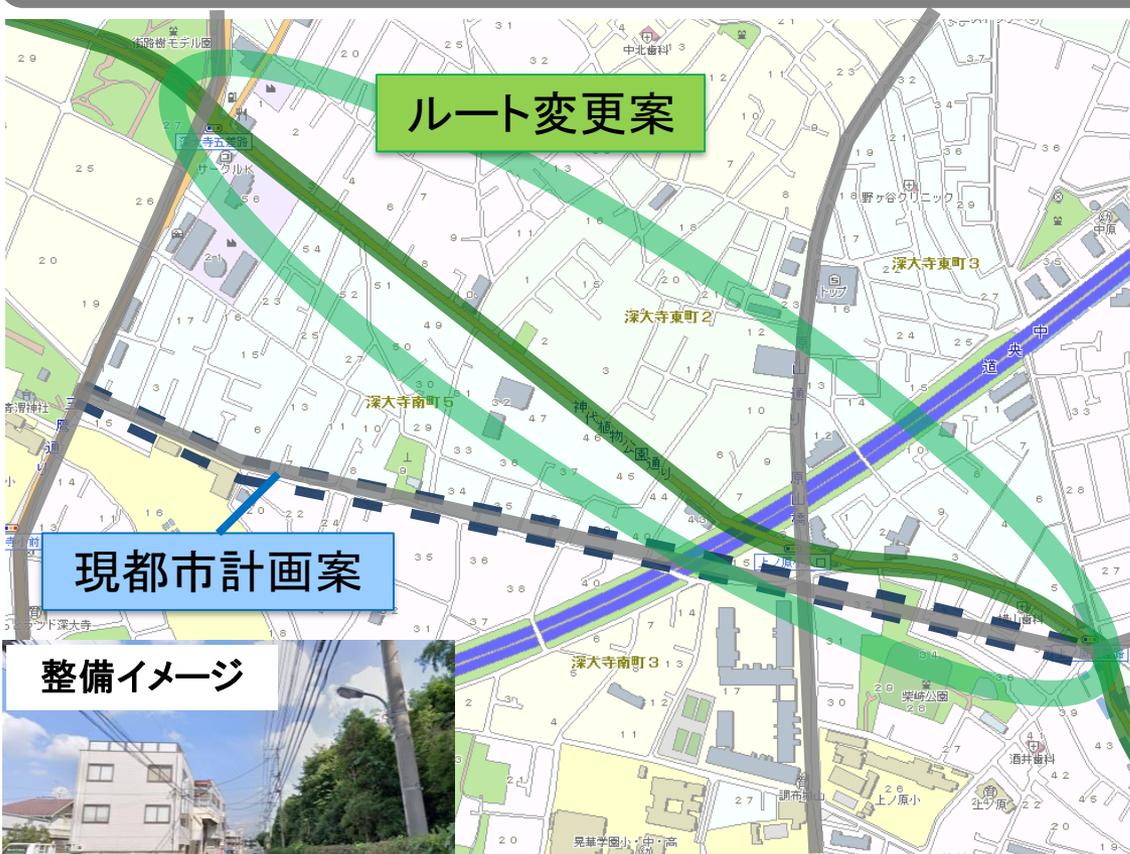
	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより，誰もが安全に移動できる環境が確保されます。 	<ul style="list-style-type: none"> バス待ち環境の改善が図られます。
快適性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより，誰もが快適に歩ける空間が確保されます。 現在の交通量より増加することが予想されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路への通過交通の流入抑制が期待できます。 新たな交通経路が確保され，神代植物公園通りの交通量分散が期待できます。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅することで，自転車の走行環境が改善されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 甲州街道より南側と接続することで，広域道路網が形成されます。 新たにバスルートの新設（または転換）が期待されます。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> 植樹帯の設置により，良好な景観の形成が期待できます。 	
防災性	<ul style="list-style-type: none"> 道路拡幅と無電柱化を行うことで，災害時でも車両通行が可能になります。 道路拡幅することで，延焼遮断機能が形成されます。 	
事業性	<ul style="list-style-type: none"> 移転対象：約100棟 堅ろうな建物が立ち並んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 移転対象：約60棟 都市計画により既に建築制限が課されています。



調布3・4・14号線の見直し方針（案）

【ルート変更案】とする

- ・ 神代植物公園通りにおける歩行者・自転車の安全性やバス待ち環境などの改善が図られます。



ルート変更案

現都市計画案

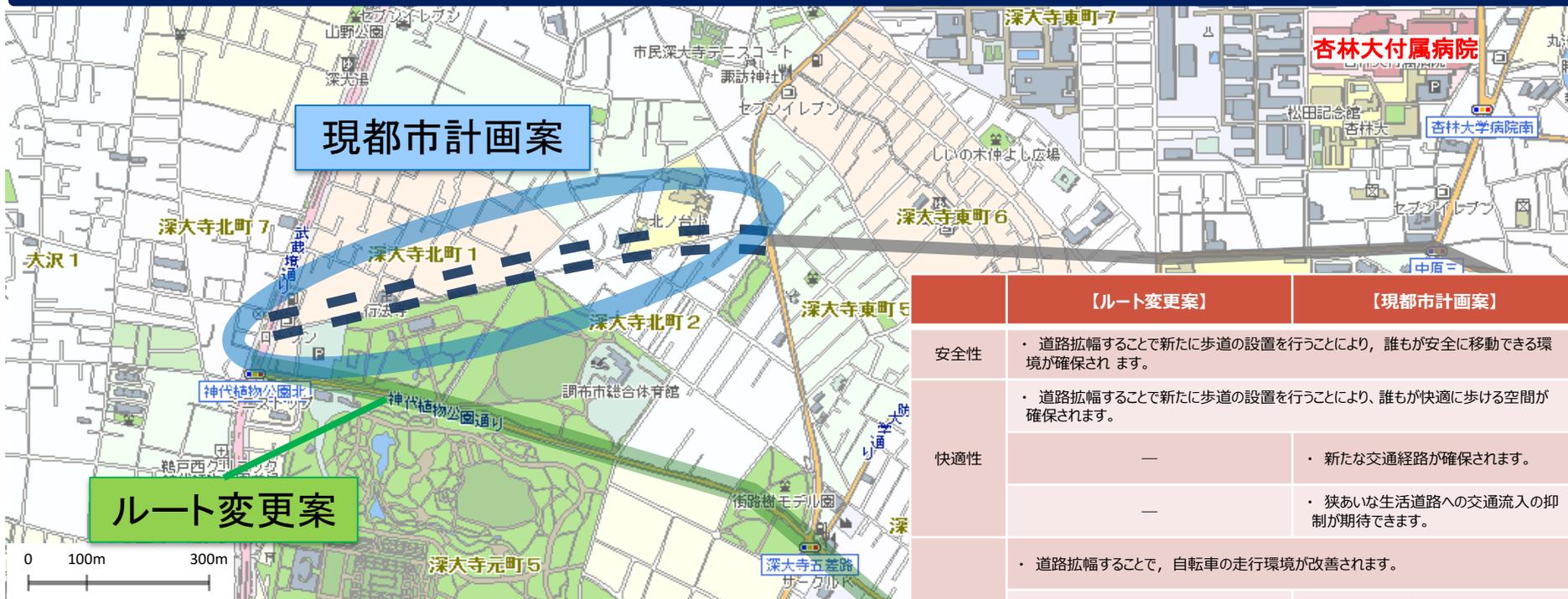
整備イメージ



	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが安全に移動できる環境が確保されます。 ・ バス待ち環境の改善が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の神代植物公園通りのバス待ち環境の改善は困難です。
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが快適に歩ける空間が確保されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神代植物公園通りの交通量は変わらないことを予測しています。 ・ 神代植物公園通りの自動車の安全かつ円滑な走行性の向上には繋がりません。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅することで、自転車の走行環境が改善されます。 ・ 深大寺や神代植物公園へのアクセス性の向上が図られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たにバスルートの新設（または転換）が期待されます。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹帯の設置により、良好な景観の形成が期待できます。 	
防災性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡幅と無電柱化を行うことで、災害時でも車両通行が可能になります。 ・ 道路拡幅することで、延焼遮断機能が形成されます。 ・ 広域避難場所である神代植物公園へのアクセス性の向上が図れます。 	
事業性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転対象：約60棟 ・ 堅ろうな建物が多いエリアがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転対象：約100棟 ・ 都市計画により既に建築制限が課されています。

調布3・4・15号線の見直し方針（案）

【現都市計画案】とする



	【ルート変更案】	【現都市計画案】
安全性	・ 道路拡幅することで新たに歩道の設置を行うことにより、誰もが安全に移動できる環境が確保されます。	
快適性	—	・ 新たな交通経路が確保されます。
	—	・ 狭い生活道路への交通流入の抑制が期待できます。
利便性	・ 道路拡幅することで、自転車の走行環境が改善されます。	・ 新たなバスルートの新設（または転換）が期待されます。
	—	・ 杏林大付属病院へのアクセス性の向上が図られます。
住環境	・ 植樹帯の設置により、良好な景観の形成が期待できます。	
防災性	・ 道路拡幅と無電柱化を行うことで、災害時でも車両通行が可能になります。	
	・ 道路拡幅することで、延焼遮断機能が形成されます。	・ 広域避難場所である神代植物公園へのアクセス性の向上が図られます。
事業性	・ 移転対象：約5棟	・ 移転対象：約15棟 ・ 都市計画により既に建築制限が課されています。

- ・ 第三次救急医療機関である杏林大学付属病院へのアクセス性向上が期待できます。
- ・ 狭い生活道路への交通流入の抑制が期待できます。

計画検討 3 路線の見直しに伴う影響①②

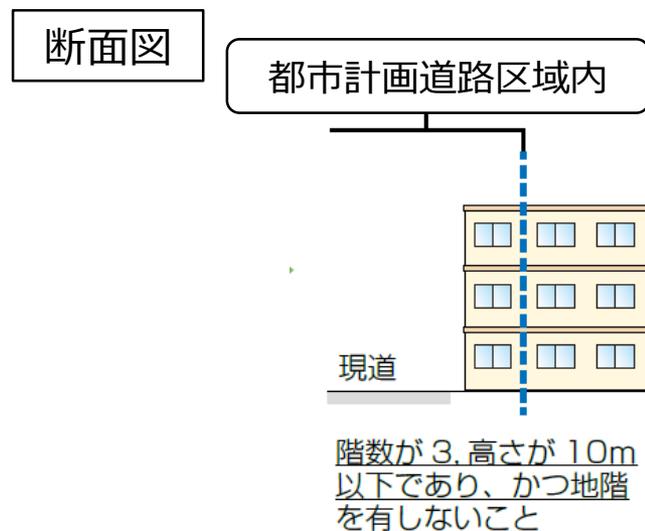
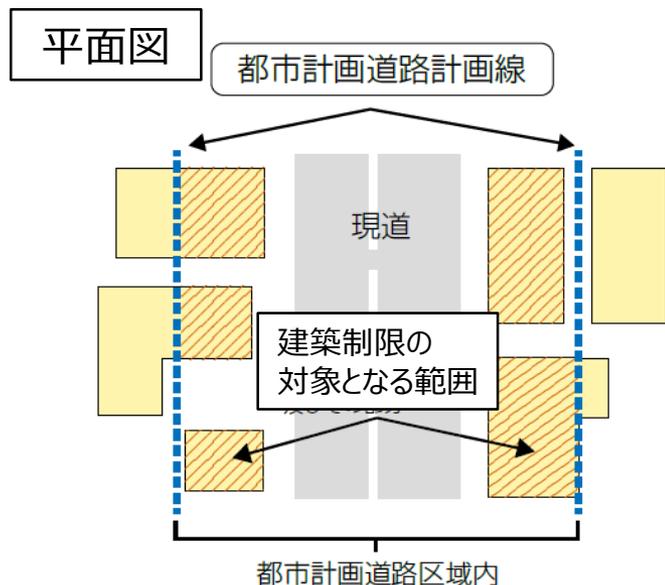
影響①：新たな都市計画道路区域の決定に伴う建築制限

神代植物公園通りにルート変更することにより、新たに都市計画道路の区域内となるエリアには、都市計画法により建築行為に対する制限が課されます。

今後の事業実施に当たっては、都市計画変更後、市の基本計画や調布市道路網計画の見直しに合わせて、各路線の位置付けについて、改めて検討を進めます。

【建築制限の主な適用基準】

- 階数が3、高さが10m以下であり、かつ地階を有しないこと
- 主要構造物が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造その他これらに類する構造であること



影響②：都市計画事業に必要な土地等の提供のお願い

都市計画事業を実施する際は、都市計画事業の施行に必要な土地等の提供をお願いすることになります。

計画検討 3 路線の見直しに伴う影響③

影響③：用途地域等の路線式指定

道路拡幅に伴い用途地域等の路線式指定の区域の幅が変わる可能性があります。

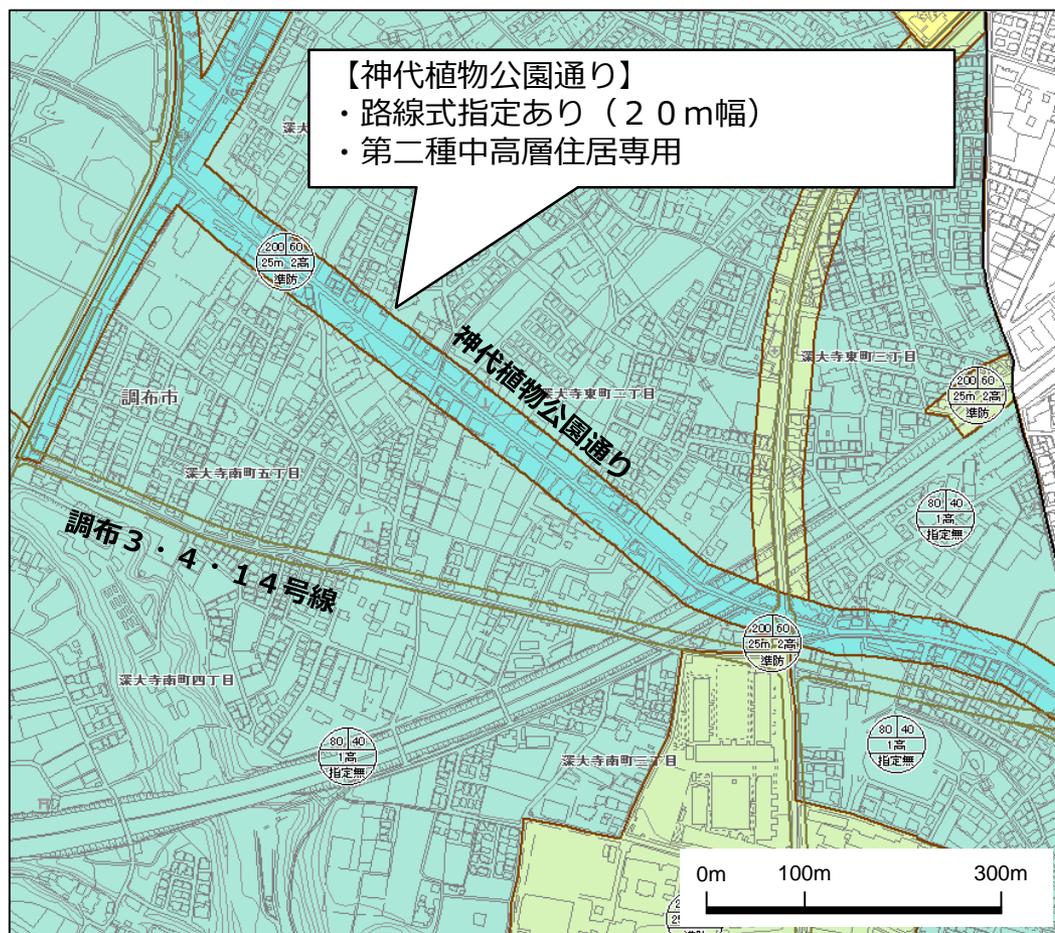


図 用途地域等の現状(調布3・4・14号線周辺)

計画検討 3 路線の見直しに伴う影響④

影響④：地区内道路(生活道路)の見直し

調布3・4・14号線をルート変更した場合でも、路線Aについては防災上地区内道路網としての位置付けが必要です。

○必要な道路幅員

- ・路線 I と同様の機能
- ・消防活動区域の解消に資する路線として、震災時に消防車が通れる幅員が必要 ⇒ **6.0m**

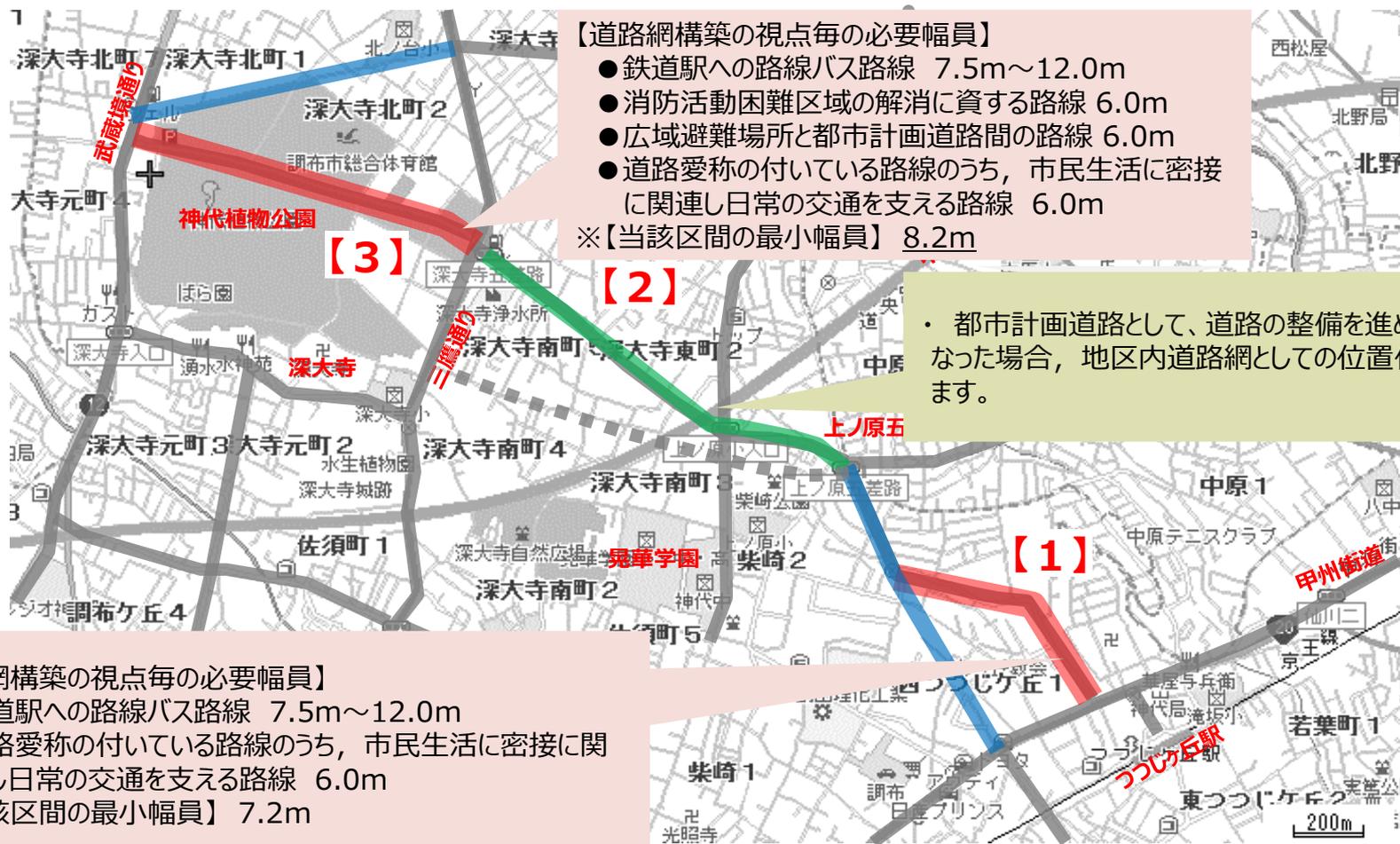


図 地区内道路の見直し

神代植物公園通りの見直しについて

現都市計画案のとおり、計画を進める区間に並行する神代植物公園通り【1】【3】は、地区内道路の計画幅員を12mに位置付けていますが、**道路網構築の視点毎に再度検証を行い、今後見直しを進めます。**

【2】は都市計画道路として、道路の整備を進めていくことになった場合、地区内道路網としての位置付けはなくなります。



検討の進め方（予定）

<計画検討（調布市）>

<市民参加（市民）>

平成27年度

調布市道路網計画

➤沿線地域の交通課題

[地元の各協議会]

令和元年9月

<ステップ1>

地域の交通課題と将来計画の考え方

➤沿線地域の交通課題の再確認

➤将来計画の考え方に関するご意見

[地元の各協議会] [沿線住民アンケート][みちの井戸端会議]

令和2年8月

<ステップ2>

将来計画案の選定による「見直し方針（案）」

➤見直し方針（案）に関するご意見

[みちの井戸端会議]

令和2年度

「見直し方針」

➤見直し方針，測量等に関するご意見

[説明会]

令和2年度

測量（路線測量）

令和3年度以降

都市計画変更手続

➤[説明会]，[都市計画案の縦覧期間中に意見書を提出]

都市計画の変更